

愛媛県社協は、社会福祉に関わる様々な課題の解決や福祉サービスの向上などを目的とした、広報、啓発、調査研究、講座・研修、ボランティア、市民活動の推進、権利擁護、福祉人材の確保、第三者評価など、幅広い活動を行っている県域の団体です。

地域福祉の活動に関わっている皆様へ

愛媛県社協は、市町社協やボランティア、市民活動団体等との連携、協働により、地域における福祉ネットワークの構築や地域福祉活動の推進を図っています。

●市町社協との連携・協働 089-921-8912 (地域福祉課)

地域福祉の中核機関としての市町社協に情報提供、調査、研究などを通じて支援するとともに、地域福祉推進のため協働しています。

●ボランティア・市民活動の支援 089-921-8912 (地域福祉課)

身近な地域でボランティアの育成・支援を行っている市町社協ボランティアセンター等を支援するとともに、地域づくり・地域の課題解決を目指す支援をしています。

●災害支援活動の充実 089-921-8912 (地域福祉課)

今後起こりうる災害に備えて、県内での総合的な連携体制を構築しています。

●民生委員・児童委員との連携 089-921-8384 (生活支援課)

愛媛県民生児童委員協議会との連携により、地域に密着した民生委員・児童委員活動を推進しています。

●高齢者の生きがいづくりの支援 089-921-5140 (長寿推進課)

全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団の派遣や高齢者大学等を通じて、地域社会における高齢者の生きがいと健康づくりを推進しています。

●福祉に関する情報発信 089-921-8344 (経営管理課)

ホームページの運営、機関誌や各種資料の発行を通じて、福祉全般の情報を広くお伝えしています。



その他の事業等に関する お問い合わせ

▶所在地

松山市持田町三丁目8番15号
愛媛県総合社会福祉会館

▶TEL(代表)

089-921-8344

受付時間 | 平日8:30~17:15

▶Eメール

main@ehime-shakyo.or.jp

▶ホームページQRコード



開設30周年 福祉用具展示場「ユニコム」がリニューアルオープンしました



▶ホームページQRコード
展示品の一覧や講座の
情報を掲載しています



見学・体験

介護用ベッドや車いす等の福祉用具を、寝室、浴室、トイレなど住まいのモデルとともに多数展示しています。

興味のある方はいつでも利用できます。

▶開館時間 / 9:00~17:00

▶休館日 / 年末年始(12/29~1/3)

学び

福祉用具や介護に関する知識・技術の普及のため、一般の方や専門職向けに様々な講座を行っています。



相談

福祉用具の相談について、専門の相談員が対応し、問題解決や不安解消のサポートを行っています。

▶福祉用具専門相談員

【火~金曜】9:00~16:00

▶介護ロボット相談窓口

【月~金曜】9:00~17:00

しののめ福祉だより

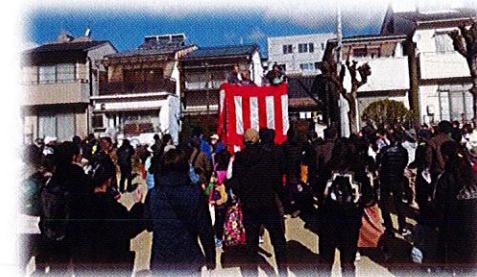
- 編集・発行 -
東雲地区社会福祉協議会
会長 宮本 教男
電話

はじめに

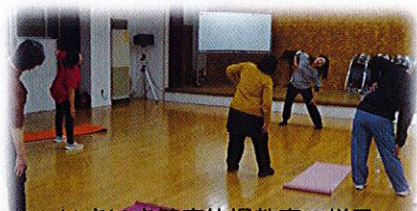
令和6年度の東雲地区社協として実施・協力してきた活動・行事について振り返ってみたいと思います。

まず、「元気活力講座：いきいき健康体操教室」昨年の5月から本年の3月までの合計15回東雲公民館と共催し実施、同じく公民館10/31に開催された「親子でハロウィンリトミック」では、リトミック研究センター認定指導者の小池智里氏をお招きして、親子で音楽に合わせて自由に体を動かし楽しみながら様々な感覚を養うリトミックを実施しました。

また、松山市社会福祉協議会が実施している「地域での福祉教育の推進」の一環として開催した『しののめ福の輪会』にも、東雲地区社協としても参加協力しました。この『しののめ福の輪会』は、東中学校で総合的な学習の時間に「高齢者福祉」を学んだ3年生を対象に、地域の高齢者の現状を知ることや地域の活動者との交流・話し合いの場を持つことを目的として実施したもので、地区社協の他にも、公民館や民生委員・独居高齢者みまもり員、包括支援センターやケアマネージャーなども参加しました。



歩こう会：餅まきの様子



いきいき健康体操教室の様子

また、1/26に開催された東雲地区歩こう会では、地区社協として、お餅を提供させていただきました。

その他、「ふれあい・いきいきサロン」や広報啓発活動などについては、別の機会にご報告させていただきます。

『安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して』

東雲校区町内会連合会 会長 向井 寿晴

日頃から、皆様方には、町内会連合会活動にご理解とご協力をいただき、町内会活動にご尽力いただいていること心より感謝申し上げます。

東雲校区町内会連合会は38町内会、3,341世帯(各町内会の登録数)で組織運営され、毎月定例会を開催して行政関係、小・中学校関係、防犯・防災関係や公民館だより等の各種広報情報を各町内会で回覧・配布し周知徹底を図っています。文化活動の「敬老会」は80歳以上の方を対象に記念品の贈呈をして、ご長寿のお祝いをしています。今年度は681名に贈呈しましたが、残念ながら、記念式典についてはコロナ禍の影響で中止としています。日帰り旅行での交流や7月の市民大清掃・12月の校区年末大清掃を実施して環境美化活動に取り組んでいます。

その他の活動としては、公民館活動と連携して「盆踊り大会」「体育祭」「グラウンドゴルフ大会」等に参加して地域住民の方との相互交流を図っています。

私たちの生活環境は「超高齢化社会」「人口減少」「異常気象による大規模災害の頻発」や「コロナ禍を経て人とのつながりの希薄化」等大きな環境変化にあります。住み慣れた地域で楽しく生き生きと暮らしていくためには「人とのつながりが続くこと」

「自分の居場所があること」が大切だといわれています。町内会の役割である「相互に支えあい、助け合い、つながりを生む」活動を推進していくことが重要です。先達が培ってくれたこの東雲地域を更に「安全で安心して暮らせる地域」「住み続けてよかったと誇れる地域」を目指して取り組んでまいります。皆様方の東雲校区町内連合会活動に対する益々のご理解とご協力をお願いいたします。



グラウンドゴルフ大会の様子

障がい者就労支援事業所

NPO 法人さなえ

～フジコビル G～

NPO 法人さなえは、あらゆる障がいをお持ちの方に対し、就業訓練や自立した日常生活及び社会生活を営むための支援事業を行っています。今回は一番町にある「フジコビル G」の事業所をご紹介します。



6階にある食堂です。
年始にはお雑煮やおしるこが提供されました。



ビジネスホテルの客室清掃。お客様の
ための気配りも重要なお仕事です。



市内にある駐車場の管理・清掃も行っています。

さなえの特徴は「業種がたくさんある」こと。
清掃、飲食店の厨房補助・接客、内職や製作、農作業
を通し、その方が持つ可能性を引き出すお手伝いをさせて
いただいています。ご自身に合わせた働き方や様々な
作業に取り組める環境があることで長く働いていただけ
ます。ぜひお気軽にお食事、カフェへお越しください。

【事業所名】さなえワークス一番町(就労移行支援)
さなえパーク一番町(就労継続支援 A 型)
さなえファーム一番町(就労継続支援 B 型)

予告

東雲地区社協では、5月頃「NPO 法人さなえ」の事業所見学を予
定しています。参加者の募集は詳細が決まり次第、「公民館だより」の
「しのめ福の輪だより」のコーナーでお知らせします。お楽しみに♪



ふれあい収集 ～R5.3から市内全域で収集開始～

ふれあい収集とは、ごみ出しが難しい高齢者などを対象に自宅前まで市職員
が訪問してゴミを収集するサービスです。(現在、松山市内での利用者約600人)

対象

世帯全員が次のいずれかに該当するごみ出しが困難な方

- ・65歳以上で、要介護1以上
- ・65歳以上で、身体障害者手帳1級・2級

●市が自宅まで収集に出向きます ●必要に応じて声掛けします

⇒**ごみ出しの負担減**

⇒**孤立を防止**

可燃ごみ、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙類、
金物・ガラス、埋立ごみ、水銀ごみ ※分別をお願いします

お問合せ先 清掃課 Tel089-921-5516



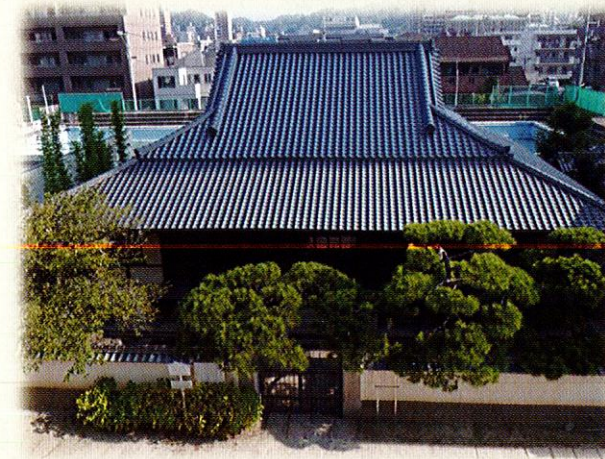
ごみを
溜めなくなった！

安否確認で
安心できる！

我が街白慢 No.25

愛媛県指定有形文化財建造物

～松山東高・明教館～



〈東高敷地内北側に建つ明教館〉

文政11年2月3日、松山藩第11代藩主松平定通（老中松
平定信の甥）が、文教興隆の基として創立。

出典は司馬遷「史記」蘇秦伝とも劉向作「戦国策」魏策と
も伝えられ、「寡人不肖、未嘗得聞明教…」（私は愚かで、
まだ一度も、明らかな教えというものを聞いたためしがな
い）から「明教館」と名付けた。

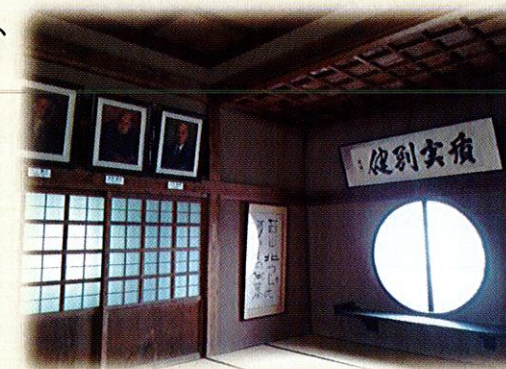
書院造り、桁7間、梁5間、入母屋造り、鋳（しころ）屋
根を付け、棧瓦ぶき、大棟鬼瓦には星梅鉢の紋、降鬼瓦、隅
鬼瓦には立葵の紋が入っている。星梅鉢の紋は、歴代藩主の
久松氏が菅原氏の子孫としてそれを誇りとし利用していたも
のである。

明教館開設時の教授は日下伯巖と高橋復斎の二人で、両名とも昌平黌で寛政の三博士の一人古賀精
里に学んでいる。特に日下伯巖は、明教館創設から40余年その職にあり、藩士の子弟で彼の指導を受け
ない者はなかったといわれる。

現在、明教館に飾られている日下伯巖の書（明賀祥三氏旧蔵）では、当時の明教館を偲ぶことができ
る。俳人の内藤鳴雪、正岡子規の叔父で松山市長を務めた加藤恒忠、
「日本騎兵の父」とも称される秋山好古などが学んだことでも知ら
れる。

明治維新後は、県学校・英学所などと呼ばれたが、明治11年
6月、松山中学校となる。明治36年から昭和10年まで愛媛教育協
会図書館として利用されていたが、昭和12年に現在地に移築。

昭和44年2月12日、愛媛県指定有形文化財建造物に指定される。
松山東高校伝統の起源として、光輝ある象徴として今日に至る。



〈明教館の建物内の様子〉